



# 第24回 藤木祭

生誕125年

日時 平成24年9月30日(日)午後1時から  
場所 芦屋・高座の滝前(雨天決行)

主催 日本山岳会関西支部  
兵庫県山岳連盟  
大阪府山岳連盟  
主管 藤木祭実行委員会  
後援 芦屋市  
近畿地区山岳連盟

## 第24回 藤木祭式次第

- |                 |                |       |                                |                 |
|-----------------|----------------|-------|--------------------------------|-----------------|
| 1 開会の言葉         | 日本山岳会関西支部      | 桑田 結  | 5 藤木九三短歌朗詠                     | 藤木摩耶子           |
| 2 主催者挨拶         | 日本山岳会関西支部長     | 重廣 恒夫 | 「みそなはず神こそいませ ひた吹雪く この頂に立ちたる我を」 |                 |
| 3 来賓挨拶          | 芦屋市長           | 山中 健  | 6 コーラス                         | アシヤユースコーラス      |
| 4 お話し「森林整備を考える」 |                |       | 7 合唱「雪山参加」                     | 出席者全員           |
|                 | 神戸市建設局六甲山整備室室長 | 松岡 達郎 | 8 閉会の言葉                        | 大阪府山岳連盟会長 山並 久次 |

## 開催の趣旨

藤木九三氏は、RCCの設立、岩場の開拓を始め岩登り技術の基礎づくりをされ、多くの登山家を育てられました。またロックガーデンの名付け親とされ、山岳詩人として優れた詩や著書を残されています。勤務された朝日新聞社では、登山の指導教育、登山行事の主催や後援、海外登山隊への援助など、登山界の発展に寄与された、わが国を代表する登山家であり、指導者でした。

この大きな功績と人柄を慕い、レリーフの建設が考えられたのは、昭和36年頃です。当時日本山岳会関西支部長であった津田周二氏を中心として、山岳連盟、RCCの方々が世話人会を結成され、約400名の方々から67万円の寄付金を得て建設されたものです。

レリーフの製作は日本山岳会員で彫刻家の佐藤久一郎氏が担当され、昭和38年5月12日に藤木先生も出席され、約200人の岳人が集い盛大に除幕式が行われました。関西の山仲間が年1回レリーフの前に集まり、旧交を暖め藤木先生をはじめ岳友を偲び、登山の発展と安全を祈る場として、今後も継続されることを祈願しています。

## 藤木祭記念ハイキング

集合 平成24年9月30日(日)午前8時30分  
場所 阪急御影駅北側・深田池  
コース 深田池～住吉川～兵岳連の森～十文字山～打越山  
～打越峠～横池～風吹岩～高座の滝  
担当 兵庫県山岳連盟 大阪府山岳連盟

## 藤木九三氏略歴

1887年(明治20年)9月30日生まれ

1970年(昭和45年)12月11日死去

福知山市で薬種商を営む、藤木喜兵衛氏の6男として生まれ、京都府立三中(現福知山高校)より早大に進学、大正4年朝日新聞社に入社、大正14年滝谷の初登攀に成功。大正15年ヨーロッパアルプスや、イギリスの岩場を登る。「屋上登攀者」をはじめ多くの著書がある。

## 第25回藤木祭(次回)は

平成25年9月29日(日)実施

## 雪山賛歌

- 雪よ岩よわれらが宿り  
俺たち町には住めないからに  
俺たち町には住めないからに
- シールはずしてパイプのけむり  
輝く尾根に春風そよぐ
- けむい小屋でもこがねのごてん  
早く行こうよ谷間の小屋へ
- テントの中でも月見はできる  
雨が降ったらぬれればいいさ
- 吹雪の日にはほんとうにつらい  
ピッケル握るに手がこごえるよ